

## 「幸せ」の世代間伝達

私が尊敬する一人に、京セラ・KDDI (au) 創業者の稲盛和夫さんがいます。  
その著書『生き方』の中に、以下の方程式がありました。

人生の結果 = 「考え方」 × 「熱意」 × 「能力」

熱意 0 ~ 10 点、能力 0 ~ 10 点、「考え方」は - 10 点 ~ 10 点の幅です。  
考え方、熱意、能力の一つでもゼロなら、結果の出ない人生 (0) となります。  
熱意 10、能力 10、考え方も 10 なら、1000 点満点の最高の人生です。

「お金を稼ぎたい、金持ちになりたい！」という熱意、能力は 10 点満点でも  
オレオレ詐欺のような「マイナス」の考え方、つまり自分が金持ちになるため  
なら、他人の財産を奪うことに全くためらいも、罪の意識もないという場合。

「金欲の熱意 10 点」「だます能力 10 点」でも、その「考え方は - 10 点」で  
詐欺師の人生の結果は - 1000 点となります。

「世のため人のため」という 1000 点満点の生き方とは正反対です。

人生の結果を「健康」に置き換えてみます。

「病気を早く治したい！」という熱意、そのための能力 (年齢・体質・薬) が  
高ければ、「健康」という結果は早く出るでしょう。

しかし、それはその人の考え方が「プラス」の場合です。

熱意 10、能力 10 でも、考え方が「マイナス」だとしたら、健康の指数は  
- 10 (考え方) × 10 (熱意) × 10 (能力) = - 1000 点。

「元気になりたい！」と願い、最大限に時間とお金を費やしていても、「元気に  
なった！」という 1000 点満点の結果が一向に出ない...

それはきっと、その人の考え方がプラスではなく「マイナス」なのです。

では「プラス」の考え方とは？

その一つが「つながり」を考えることです。

「身体」と「ココロ」のつながり。

そして「世代間」のつながりを捉えることです。

## 「考え方」の世代間伝達

世代間伝達とは、「親 子 孫」の3代に渡って伝達していくことです。政治の世界では、二世、三世という議員が目立ちますが、そうした目にみえる地位・名誉よりも、目に見えないもの、「考え方」の伝達が重要です。特に「子育て」の考え方において、「早期自立」「厳格」を世代間伝達している家系、子供の「甘え」の感情を否定的に見てしまう家系が目立ちます。「この子のため」という親心だとしても、幼少期から子供の甘えの感情を過度に否定すると、以下のような「負の世代間伝達」家系となってしまいます。

### 【70歳代主婦からの相談】

息子夫婦のところの2人の孫が心配でたまりません。姉の方は高校2年生で退学。その後、家出し妊娠。子供を産んでから報告に来なくなりました。私はあまりにもびっくりして何が何だかわからず、叱り飛ばしてしまいました。下の孫が今、高校2年生です。髪を染め、とても普通の生徒には見えません。帰宅は夜10時、11時。どこで何をしているのかわかりませんが、親が来るまで迎えに行っているようです。姉で失敗しているのだから、下の孫だけはきちんとしてほしいのです。同じ道を歩んでしまうのではないかと心配です。親である息子は休むことなく会社で働き、息子の妻はとても地味な性格で大きな声を出すこともありません。週3回パートに出ています。自分たちの子供のことを何も考えていないのでしょうか。私の夫は「人生は自分自身で決めるもの。放っておけ」と言いますが、もやもやした気持ちが続いています。

このご家族には「3世代(孫)の問題は、2世代(息子夫婦)、1世代(祖母)の考え方に問題があるのではないか?」という視点が不足しています。ひ孫の顔を見せに来た孫を叱り飛ばした。以来3年間も顔をあわせていない。息子夫婦に対する不信と怒り。祖母は消極的な嫁の、母親としての不甲斐なさにも、きっと激しい憤りを感じていることでしょう。祖母が育った戦前戦中と、戦後60年余り経った現在。その時代背景が違い過ぎることも、世代間での「考え方」が大きく異なる要因となっています。しかしそれを考慮しても、文中「姉で失敗しているのだから」はいただけません。祖母の「厳格」「批判癖」が、息子を仕事中毒にしているのかもしれない。

素行不良の孫には「自分のありのままを認めてほしい」という潜在的欲求があるようです。自分を好きになれず、自分に自信が持てないから、「幸せに生きよう!」という気力に欠け、「不安」「絶望」「現実逃避」という闇の中に陥ってしまうのです。

## さて、太田東西の「考え方」は？

人生の結果 = 「考え方」 × 「熱意」 × 「能力」

人生の結果は「仕事の結果」でもあります。

太田東西薬局は、おかげさまで今月で12年となりました。

そして私、太田憲一の考え方は「世のため人のため」と公言いたします。

それをある人は「偽善」といいます。「人の為」と書いて「偽」ですから。

しかし偽善と言われようと、私の喜びは皆さんに喜んでもらうことです。

ということは「自分のため」でもあるのです（笑）

私利私欲、我田引水な「考え方」を持って、「熱意」「能力」をふるっていたならば、すでに当局は淘汰されていたことでしょう。

昨今の偽装企業と同じように。

病気を治すこと。幸せに導くこと。

薬剤師になって20年ですが、これまではひたすら「治すこと」に熱意と能力を傾けてきました。しかしこれからは「幸せに導くこと」に邁進いたします。

それが「森を見る」ことだと、気づいたからです。

「その人を治す」考え方は、「その木を見ている」だけです。

「病気が治れば、幸せになれる」。確かにそうかもしれませんが。

しかし身体の病気が治っても、その人のところが「幸せだ！」と実感して生活できなければ、やがて別の病気として再発するかもしれません。

「こころ」 - 「身体」はつながっていますから。

こころの乱れ（マイナス思考）は、身体の乱れ（病気）となります。

親、子、孫の3世代。

この「世代間」を見て、ご相談をお受けする必要性を日々痛感しています。

ぜひ、太田東西薬局をご家族でご利用いただくことをおすすめいたします。

このお願い、この「考え方」、お金儲けからではありませんよ（笑）

「世代間での漢方相談」が、「家系の幸福」につながると確信するからです。